**第１回加西市立学校給食センター運営方式検討委員会**

|  |  |
| --- | --- |
| 日　時 | 令和7年6月24日　18：00～ |
| 場　所 | 加西市総合教育センター　会議室3 |
| 出席者 | 学識経験者：森井委員（兵教大）、遠藤委員（兵庫県学校給食・食育支援センター専門員）保護者代表：内藤委員（中学校PTA）、大塚委員（小学校PTA）学校関係者：岩﨑委員（泉中）、菅野委員（日吉小）、大道委員（泉小） |
| 事務局 | 教育長、伊藤部長、松本課長、繁田食育専門員、鈴木北部学校給食センター所長、坂江南部学校給食センター所長 |
| 内容：３．委員長、副委員長の互選　　　委員長・・・森井委員、副委員長・・・内藤委員４．検討委員会への諮問書提出　　　教育長より、学校給食センターの将来にわたる安全で安心な給食の提供、効率的な運営を進めるための検討について諮問を受ける。５．給食センターの概要と給食センターの調理の民間委託について報告・説明　　　事務局より説明〇調理が民間委託になることについて、「教育委員会と学校との連携が難しくなる」とはどういう意味か。　→現行は直接やり取りしている。しかし、業務委託している西脇では、調理が民間委託になっても問題がないと確認している。〇3,300食を2センター方式でしているが、民間委託になった場合調理員の確保はできるか。　→業務委託で運営している西脇市では、3,000余食を調理員30名で調理している。現状働いている人で、委託になっても引き続き働きたいという方は、そのまま民間会社でも働いていただけると思う。〇民間業者で、加西市の業務を担ってくれそうな業者はあるのか。　→数社問い合わせをいただいている。〇調理業務が民間になると何が良くなるのか。　→現行では新しく入った調理員に対する教育及び調理員の確保、募集、採用、事務、等を行っている。委託になると、新しく入った調理員に対する教育や指導は、ベテランの職員が担うことができ、指導体制がきちんと成立している。〇どうして正規職員が1人なのか。　→約20年ほど前から、将来の民営化を見据えて、調理員などの正規職員を補充していないため、定年になると退職となり補充はしていない。〇調理員の募集は資格がある人のみか。　→資格がなくても採用はしている。その後資格取得を推奨している。〇調理師の資格を持った調理員は現在どの程度いるか。　→約９割が有資格者〇安心・安全な給食のために委託業者に対して、調理員に資格保有者の確保が必要と考える。　→委託先にもお願いしたい。〇調理員から意見聴取したのか。　→今年の2月から民間委託について話をしている。〇民間委託後に残る人に対するケアが必要ではないか。　→必要と考えている。〇現行では、調理員が長期休暇や退職などになった場合、急遽の補充は難しいが、民間だと社内の人員を回せるし、雇用形態（調理要員・洗浄要員など）で時間ごとの雇用形態での運用もできるので、強みがある。　→公務員としては、流動的な働き方は難しいので、民間はシフトなどを工夫して効率的に運用できる。〇こども園は今後委託になるのか。　→調理業務の委託もできるが、将来的には園自体を民間委託していく方向。〇民間委託をしても支出は減らないと思う。〇学校としては、今と同じように、サービスの低下がなく、安心、安全な給食の提供を受けられるのであれば、民間でも全く問題はないと考える。デメリットがないならどちらでもよい。〇今後給食費の無償化は続けられるのか。　→今ふるさと納税を給食費の無償化に充てている。施策が変わらない限り続く。６　次回の会議は令和7年8月27日（水）18：00～ |